

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ



No.21-016
2021年 3月 26日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

馬毛島の基地建設は許さない

「環境影響評価方法書」への意見書の送付 4月1日まで

安保破棄中央実行委員会は馬毛島基地(仮称)建設事業に係る環境影響評価方法書への意見書を3月16日に防衛省熊本防衛支局の建設計画官付に送りました(別記参照)。

意見書提出の締め切りは4月1日です。馬毛島の基地建設を許さないために意見書提出をお願いします。



馬毛島基地反対署名を国会提出(昨年11月)

〈送り先〉

〒862-0901 熊本市東区東町1-1-11 熊本防衛支局 建設計画官付
TEL: 096-368-2173 FAX: 096-368-6970
Mail: ks-km-tyoutatsu@kyushu.rdb.mod.go.jp

陸自オスプレイ4機目 23日に木更津配備

2月に米軍岩国基地へ陸揚げされた陸自オスプレイ(V-22)5機の内、2機目が3月23日の午後1時過ぎに岩国基地を離陸し、3時ごろ陸自木更津駐屯地に到着しました。今回の配備で、陸自オスプレイは4機体制になりました。監視行動していた「オスプレイ来るな 住民の会」の人たちは、抗議行動を行いました。

陸自 最大規模の演習を計画

陸上自衛隊は今年9~11月にかけて、島嶼部での有事などを想定した過去最大規模の演習を検討していることが沖縄タイムス(3/23)の報道で分かりました。全国規模での演習は28年ぶりではほぼ全隊員の14万人が参加するようです。

意見書を提出しようとする者の氏名及び住所(法人その他の団体にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

提出者 安保破棄中央実行委員会 事務局長 東森英男
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
MMビル 502

意見書の提出の対象である方法書の名称

馬毛島基地(仮称)建設事業に係る環境影響評価方法書

方法書について環境の保全の見地からの意見

- (1) 今年1月31日に行なわれた西之表市長選挙で、「失うものの方が大きい」として馬毛島の軍事基地化反対を掲げた八板俊輔氏が当選したことをふまえ、馬毛島の軍事基地化に向けた環境アセスメントは中止してください。
- (2) 馬毛島に基地が造られれば、米空母艦載機の離発着訓練(FCLP)深夜3時までの訓練が行なわれるとされています。また、同基地では、自衛隊のオスプレイや大型輸送用ヘリコプターCH47を使った「殴り込み訓練」、輸送機C130による不整地着陸訓練、ステルス戦闘機F35による連続離着陸訓練や模擬艦艇発着艦訓練が「実施する可能性がある主な訓練」とされています。
このような訓練が行なわれれば、種子島(1市2町)全体が人の住めない島になってしまいます。
- (3) 馬毛島に基地が造られれば、訓練で騒音や危険な場所となり観光業が成り立たなくなります。また、馬毛島周辺海域の漁場が失われ、漁民が生活の糧を失います。
- (4) 基地建設は、馬毛島の固有種で数百頭の生存が確認されているマゲシカなど希少生物の絶滅が懸念されるとともに、馬毛島の先人の歴史の足跡も消されます。
- (5) 馬毛島の軍事基地化は、沖縄の石垣島や宮古島への自衛隊ミサイル基地建設など、菅政権がすすめている南西諸島での一連の軍事強化の一環です。これは、アメリカの対中戦略の肩代わりであり、南西諸島を戦争に巻き込む危険なものであり許されません。
以上の理由により、環境アセスの中止を求める立場からこの方法書に反対します。